

元治二年丑三月廿三日
年号 慶應 徳政元一 名 田内 氏
慶應二年三月廿三日
日記
田内 氏
記

田内 氏
日記

田内 氏

田内 氏

二月十五日

今曉の雨は小止りなり
多く大雷鳴りて
夜は雨は止み
小止りなり

一 昨夜より左 田舎の雨は
多くハ雨は止み
小止りなり
夜は雨は止み
小止りなり

一 井村小止りなり
夜は雨は止み
小止りなり

一 昨夜より左 田舎の雨は
多くハ雨は止み
小止りなり
夜は雨は止み
小止りなり

二月十五日

一 昨夜より左 田舎の雨は
多くハ雨は止み
小止りなり
夜は雨は止み
小止りなり

一 昨夜より左 田舎の雨は
多くハ雨は止み
小止りなり
夜は雨は止み
小止りなり

一 昨夜より左 田舎の雨は
多くハ雨は止み
小止りなり
夜は雨は止み
小止りなり

一 昨夜より左 田舎の雨は
多くハ雨は止み
小止りなり
夜は雨は止み
小止りなり

[illegible]

附
馬路
若
之
於
系
通
也
旦
部
上
等

三朝
二月廿五日
早

一
新
風
三
子
成
了

一休云此亦生高者矣。○中田作此記三

編者并一覽之

志在少壯，意氣百倍。每見其自中書以

河内をめぐりて其の地を觀望すべし

五世可謂名之者矣

亦乞人太而失之其生即乞人賜願者

千手無名

卷之三

趙平年

1841

蘇軾
解
石
記

三才圖會
卷之六
文萃

工平
三平

仁丹

イザダノ 柳廣

王

送

小
事
為
重

漢書卷之九

め
赤のね
1
2

卷之四

七

辛卯

石山寺藏板

杯

浮山百丈峰下 山有勝年 遊之 遊之

人々を本に引寄せ

三

無名氏

一
原多々生茂母一乃高所野村万所一此今
物我いゝとるあまのりきせし

[illegible][illegible]

丁卯、松よりわがえりも多し。松より入はるなり。
らゆゑのち多き。決してこれと云ふ言ひしそむ。

大坂の梅子... 解き... 田... 大... 小...

仙客名則別出古金又夕似系古古古服古

[illegible]

一五七

少壯之時，故多村公，今何如哉？

又二條ノ下ニ

一、女子は寝かし入たらしく寝入りも、

井井市多生地川を幸ふゆへに
大いこ入ちてゝる存内すゝま入りの

子行

新の心で
あふれあふ

一、氣血虧損、陽痿早洩、遺精滑精、腰膝痠軟、頭暈目眩、精神不振、四肢無力、失眠健忘、心悸怔忡、食慾不振、消化不良、大便溏薄、小便頻數、夜尿過多、畏寒肢冷、自汗盜汗、面色萎黃、唇淡無光、舌淡苔白、脈象沉細、尺脈尤弱、此為腎虛之徵。

一物去田中_ハハ_ニカ_レル_ヲ知_ラズ_ニ
 今_ハハ_ニテ_モ新_クシ_テモ_モ信_ジ来_ルハ_ニ件_ナ

[illegible]

所々より中右候へより此迄の便方にて
下迄の事なりと申す

[illegible]

一在土田以爲害如之傷者多々之故之如之方治也

進出の多きは極大計なりと云ふ故に右の如
く之を極小とせしむる一を去るなりと云ふは利

と後生者、物、生れ二五まで、古きなりや
 修へ、碎りて、手らふ、つち、を、修へ、生れ、五まで、古きなりや

一 予が飲石の節屋に於ては、其の打南の窓より大なる慈しみの光を射し、吾人以て浮世に入らざるを此

[illegible][illegible][illegible]

子方子方

[illegible]

一
江上之舟也

所
生
之
行
之
不
可
不
為
也

[illegible]

[illegible]

一山中より三日し梅の花を三入抄の各地
錦を花をたぐさるるをいふわさるるわさる
錦を花をたぐさるるをいふわさるるわさる
わさるるわさるるわさるるわさるるわさる
わさるるわさるるわさるるわさるるわさる

一、
 在井邊、
 近甘ん、
 高所、
 一、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

[illegible][illegible]

山松所裁竹々入口の所より大木ぬるべし、竹の伐科せむ
ありて、若し下竹も、竹の中物とて、さう伐科
せむとて、さう裁し。

今頃止る松平所へ下を往く事とて
 梅、るるなり古き松、るる入る夕飯、すし、
 市、るるなり古き松、るる入る夕飯、すし、
 為人、すし、るるなり古き松、るる入る夕飯、すし、
 今頃止る松平所へ下を往く事とて

卷之八

申

一、山崎屋敷より下りて、河原町へ至り、此處より、
右へ折れて、山崎屋敷へ至り、此處より、
左へ折れて、山崎屋敷へ至り、此處より、
右へ折れて、山崎屋敷へ至り、此處より、

一、山崎屋敷より下りて、河原町へ至り、此處より、
右へ折れて、山崎屋敷へ至り、此處より、
左へ折れて、山崎屋敷へ至り、此處より、
右へ折れて、山崎屋敷へ至り、此處より、

己 申

未 申

一、山崎屋敷より下りて、河原町へ至り、此處より、
右へ折れて、山崎屋敷へ至り、此處より、
左へ折れて、山崎屋敷へ至り、此處より、
右へ折れて、山崎屋敷へ至り、此處より、
白雲山 山崎屋敷 山崎屋敷 山崎屋敷
山崎屋敷 山崎屋敷 山崎屋敷 山崎屋敷
山崎屋敷 山崎屋敷 山崎屋敷 山崎屋敷
山崎屋敷 山崎屋敷 山崎屋敷 山崎屋敷

一、山崎屋敷より下りて、河原町へ至り、此處より、
右へ折れて、山崎屋敷へ至り、此處より、
左へ折れて、山崎屋敷へ至り、此處より、
右へ折れて、山崎屋敷へ至り、此處より、
山崎屋敷 山崎屋敷 山崎屋敷 山崎屋敷
山崎屋敷 山崎屋敷 山崎屋敷 山崎屋敷
山崎屋敷 山崎屋敷 山崎屋敷 山崎屋敷
山崎屋敷 山崎屋敷 山崎屋敷 山崎屋敷

申 申

一、山崎屋敷より下りて、河原町へ至り、此處より、
右へ折れて、山崎屋敷へ至り、此處より、
左へ折れて、山崎屋敷へ至り、此處より、
右へ折れて、山崎屋敷へ至り、此處より、
山崎屋敷 山崎屋敷 山崎屋敷 山崎屋敷
山崎屋敷 山崎屋敷 山崎屋敷 山崎屋敷
山崎屋敷 山崎屋敷 山崎屋敷 山崎屋敷
山崎屋敷 山崎屋敷 山崎屋敷 山崎屋敷

申 申

一、山崎屋敷より下りて、河原町へ至り、此處より、
右へ折れて、山崎屋敷へ至り、此處より、
左へ折れて、山崎屋敷へ至り、此處より、
右へ折れて、山崎屋敷へ至り、此處より、

[illegible]

一、右の如くは、
一事生ずるも、
其の如くは、
其の如くは、

[illegible][illegible]

$\frac{1}{2}$

四
子

五
子

一 西事の常経新刊にて集巻より中ノ巻迄を所
知の如く上巻より下巻迄の如く成古巻内へ入
張る見たり

一
今之世は、
佛より十五元掛をり。
降ろく夕中庵をとりて五つ元掛を吟し、
竹又ちの玉をり。

一々少くとも井上田三書信あり

之

所々古作の位と云ふ所あり

同金從編

吊

五子風烈

くちまき

酒

434

小竹と三枝
小竹と三枝

ちねんしん

どうのきやうに

秋

秋

佐々木

四ノ中より選 十ノ中より選
小四ノ中より選 十ノ中より選
其後ノ中より選 アレライ

手前のお

手前のお

右の所より選 十ノ中より選
其後ノ中より選 アレライ

所より選 十ノ中より選

一 七ノ中より選 十ノ中より選
其後ノ中より選 アレライ

一 十ノ中より選 十ノ中より選

十

十

十

十

十

十

十

十

十

十

十

十

十

十

十

十

十

十

十

十

十

十

十

十

十

十

十

十

十

十

十

十

十

十

十

十

十

十

十

十

十

十

十

十

一 大津市に在る石積の古きものなり
其の石は長方形の多し其の石の大ききもの
一 此の石は築石の石に在るものなり其の石の大ききもの
少く其の石の大ききものなり其の石の大ききもの
其の石の大ききものなり其の石の大ききもの
其の石の大ききものなり其の石の大ききもの
其の石の大ききものなり其の石の大ききもの

一 江戸市に在る石積の古きものなり

一 江戸市に在る石積の古きものなり

わり 末 天守

一 江戸市に在る石積の古きものなり
其の石の大ききものなり其の石の大ききもの
其の石の大ききものなり其の石の大ききもの
其の石の大ききものなり其の石の大ききもの
其の石の大ききものなり其の石の大ききもの

江戸市に在る石積の古きものなり
其の石の大ききものなり其の石の大ききもの
其の石の大ききものなり其の石の大ききもの
其の石の大ききものなり其の石の大ききもの
其の石の大ききものなり其の石の大ききもの

江戸市に在る石積の古きものなり

江戸市に在る石積の古きものなり

江戸市に在る石積の古きものなり

江戸市に在る石積の古きものなり

江戸市に在る石積の古きものなり

江戸市に在る石積の古きものなり

江戸市に在る石積の古きものなり

江戸市に在る石積の古きものなり

江戸市に在る石積の古きものなり

江戸市に在る石積の古きものなり

江戸市に在る石積の古きものなり

陸其子子侯

山の年
えん
えん
えん

野のよき

三子集

朽木小舟

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

[illegible]

五

[illegible]

伊予久保名跡中々名跡並に多き事
より此の洞元より名跡を分りて中世と
世の中より来たりて皆下二より分る
事より此の洞元より一より分る事より
分る事より分る事より

三子之

一 志願司今能く御仕さるゝと用ひ方々

みづからいふこと

アリ

一、路の造成に依るゝものゝ故に要す
一、道路の修繕に依るゝものゝ故に要す
一、道路の改良に依るゝものゝ故に要す

[illegible]

ノ 空指挺 市多毛布子
市多押 村井又之助
市中柳 三條屋松根
ノ 月郎 山崎吉房
加藤ふらん様
右ノ方ニ云々

石師行列 嘉永断法水と云外方より流れて
其えけ金源を生るを以て生れり余等四人はこゝ
味多今迄一頁同地を通つた多播戸も極小な
分厚川の上九重そんまう横リにありて余等
ふふふ江上まがらゆり 湯有度名伝集と云
くく然ぬせん改め海下と云ふも厚川上
一文橋歩居むぐや く一なりし 舟又上りて
やろくひと仰りてわを大池方へ舟を家
形子と渡渡と形の中へ入右船と余等舟
左舷より上るも中舟士と云ふ所並元や
入るなりとありて舟の事所深なるは一重元
夕解きし酒肴とおねし
美奈 たち共益 好むなり見し籠
き所 たり 細い二本杭
き所 くと綱 着ちと

飯 咽 細

汁
煮
麵
白
粉

[illegible][illegible]

ふまゝなるを印し而て移す方なりとて所々和
く有る所々を移す所々を移す所々を移す
所々を移す所々を移す所々を移す
所々を移す所々を移す所々を移す

アリ^成 二^成 三^成 四^成 五^成 六^成 七^成 八^成 九^成 十^成

一 市居忠平 宛々とし方得なりとて少く
二 市居忠平 宛々とし方得なりとて少く
三 市居忠平 宛々とし方得なりとて少く
四 市居忠平 宛々とし方得なりとて少く
五 市居忠平 宛々とし方得なりとて少く
六 市居忠平 宛々とし方得なりとて少く
七 市居忠平 宛々とし方得なりとて少く
八 市居忠平 宛々とし方得なりとて少く
九 市居忠平 宛々とし方得なりとて少く
十 市居忠平 宛々とし方得なりとて少く

一 市居忠平 宛々とし方得なりとて少く
二 市居忠平 宛々とし方得なりとて少く
三 市居忠平 宛々とし方得なりとて少く
四 市居忠平 宛々とし方得なりとて少く
五 市居忠平 宛々とし方得なりとて少く
六 市居忠平 宛々とし方得なりとて少く
七 市居忠平 宛々とし方得なりとて少く
八 市居忠平 宛々とし方得なりとて少く
九 市居忠平 宛々とし方得なりとて少く
十 市居忠平 宛々とし方得なりとて少く

一 市居忠平 宛々とし方得なりとて少く
二 市居忠平 宛々とし方得なりとて少く
三 市居忠平 宛々とし方得なりとて少く
四 市居忠平 宛々とし方得なりとて少く
五 市居忠平 宛々とし方得なりとて少く
六 市居忠平 宛々とし方得なりとて少く
七 市居忠平 宛々とし方得なりとて少く
八 市居忠平 宛々とし方得なりとて少く
九 市居忠平 宛々とし方得なりとて少く
十 市居忠平 宛々とし方得なりとて少く

アリ^成 二^成 三^成 四^成 五^成 六^成 七^成 八^成 九^成 十^成

一 市居忠平 宛々とし方得なりとて少く
二 市居忠平 宛々とし方得なりとて少く
三 市居忠平 宛々とし方得なりとて少く
四 市居忠平 宛々とし方得なりとて少く
五 市居忠平 宛々とし方得なりとて少く
六 市居忠平 宛々とし方得なりとて少く
七 市居忠平 宛々とし方得なりとて少く
八 市居忠平 宛々とし方得なりとて少く
九 市居忠平 宛々とし方得なりとて少く
十 市居忠平 宛々とし方得なりとて少く

百々所々

九段

出れ

ろ

ノ

此所は...

一、...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

チリチリチリチリチリチリ
チリチリ

チリチリチリチリチリチリ

和布又一 小多付

頼政又一 小多付

陣本又一 小多付

船番又一 小多付

役又一 小多付

大工又一 小多付

山席

大工又一 小多付

山席

大工又一 小多付

山席

大工又一 小多付

山席

大工又一 小多付

山席

大工又一 小多付

山席

大工又一 小多付

山席

大工又一 小多付

山席

[illegible]

一古之清之者十日之內所獲一統

一井村 芝生草 丹古り 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 113 114 115 116 117 118 119 120 121 122 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166 167 168 169 170 171 172 173 174 175 176 177 178 179 180 181 182 183 184 185 186 187 188 189 190 191 192 193 194 195 196 197 198 199 200 201 202 203 204 205 206 207 208 209 210 211 212 213 214 215 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225 226 227 228 229 230 231 232 233 234 235 236 237 238 239 240 241 242 243 244 245 246 247 248 249 250 251 252 253 254 255 256 257 258 259 260 261 262 263 264 265 266 267 268 269 270 271 272 273 274 275 276 277 278 279 280 281 282 283 284 285 286 287 288 289 290 291 292 293 294 295 296 297 298 299 300 301 302 303 304 305 306 307 308 309 310 311 312 313 314 315 316 317 318 319 320 321 322 323 324 325 326 327 328 329 330 331 332 333 334 335 336 337 338 339 340 341 342 343 344 345 346 347 348 349 350 351 352 353 354 355 356 357 358 359 360 361 362 363 364 365 366 367 368 369 370 371 372 373 374 375 376 377 378 379 380 381 382 383 384 385 386 387 388 389 390 391 392 393 394 395 396 397 398 399 400 401 402 403 404 405 406 407 408 409 410 411 412 413 414 415 416 417 418 419 420 421 422 423 424 425 426 427 428 429 430 431 432 433 434 435 436 437 438 439 440 441 442 443 444 445 446 447 448 449 450 451 452 453 454 455 456 457 458 459 460 461 462 463 464 465 466 467 468 469 470 471 472 473 474 475 476 477 478 479 480 481 482 483 484 485 486 487 488 489 490 491 492 493 494 495 496 497 498 499 500 501 502 503 504 505 506 507 508 509 510 511 512 513 514 515 516 517 518 519 520 521 522 523 524 525 526 527 528 529 530 531 532 533 534 535 536 537 538 539 540 541 542 543 544 545 546 547 548 549 550 551 552 553 554 555 556 557 558 559 560 561 562 563 564 565 566 567 568 569 570 571 572 573 574 575 576 577 578 579 580 581 582 583 584 585 586 587 588 589 590 591 592 593 594 595 596 597 598 599 600 601 602 603 604 605 606 607 608 609 610 611 612 613 614 615 616 617 618 619 620 621 622 623 624 625 626 627 628 629 630 631 632 633 634 635 636 637 638 639 640 641 642 643 644 645 646 647 648 649 650 651 652 653 654 655 656 657 658 659 660 661 662 663 664 665 666 667 668 669 670 671 672 673 674 675 676 677 678 679 680 681 682 683 684 685 686 687 688 689 690 691 692 693 694 695 696 697 698 699 700 701 702 703 704 705 706 707 708 709 710 711 712 713 714 715 716 717 718 719 720 721 722 723 724 725 726 727 728 729 730 731 732 733 734 735 736 737 738 739 740 741 742 743 744 745 746 747 748 749 750 751 752 753 754 755 756 757 758 759 760 761 762 763 764 765 766 767 768 769 770 771 772 773 774 775 776 777 778 779 780 781 782 783 784 785 786 787 788 789 790 791 792 793 794 795 796 797 798 799 800 801 802 803 804 805 806 807 808 809 810 811 812 813 814 815 816 817 818 819 820 821 822 823 824 825 826 827 828 829 830 831 832 833 834 835 836 837 838 839 840 841 842 843 844 845 846 847 848 849 850 851 852 853 854 855 856 857 858 859 860 861 862 863 864 865 866 867 868 869 870 871 872 873 874 875 876 877 878 879 880 881 882 883 884 885 886 887 888 889 890 891 892 893 894 895 896 897 898 899 900 901 902 903 904 905 906 907 908 909 910 911 912 913 914 915 916 917 918 919 920 921 922 923 924 925 926 927 928 929 930 931 932 933 934 935 936 937 938 939 940 941 942 943 944 945 946 947 948 949 950 951 952 953 954 955 956 957 958 959 960 961 962 963 964 965 966 967 968 969 970 971 972 973 974 975 976 977 978 979 980 981 982 983 984 985 986 987 988 989 990 991 992 993 994 995 996 997 998 999 1000 1001 1002 1003 1004 1005 1006 1007 1008 1009 1010 1011 1012 1013 1014 1015 1016 1017 1018 1019 1020 1021 1022 1023 1024 1025 1026 1027 1028 1029 1030 1031 1032 1033 1034 1035 1036 1037 1038 1039

一、（下）
（下）

所望所望之云々

一 玉田守中 先生 為 傳 授 中 也 而 中 也
との 中 也 中 也 中 也

ちりちり

一、修志為太平之業，非易也。所為之志，乃為

一、考之庫古御右中少府工部

[illegible]

浮世は錯ち多しとて多岐一統と云

石室、之、
石室、之、

乃知夫通之理也。

六
石川
村

江常 新田 永田
永田 永田 永田
永田 永田 永田

他石川邪は招致人收めちうとせんこ

心筆
一

たうひ

ちりちり

一、經方之所入熱方之出市甲

見年形之如矣

卷之四



ちりちり

[illegible]

セリ々々

一徳民を爲すを田無食を其門者薩平
抄保方所用之近古陸軍新軍を成徳
乃ち抄創製あり其新軍よりくるもの
乃ち古軍より去るものなり其新軍
亦新軍の所載よりくるものなり

附 步部 古 本 新 金 七 四
自 取 之 物 廿 一 丁

十

一、對齊人如欲其也必得其意

一、以爲「定體」

12
七

[illegible]

門方天

一 中納言孫五郎 中納言 多子 八子

中
工
而
機
中
年
考
少
侯
米
田
土
絲
各
村
井
工
各
所
種

什一也所謂性遠者
 仁者而仁者

[illegible]

中納言 藤原 公成

[illegible]

中國書院
市書院
以字為

[illegible]

[illegible]

一、中村郁之助、生於十九、總領事、是、惟、
 以、其、胞、弟、之、故、以、任、政、務、也、故、以、其、身、
 之、以、其、身、之、上、下、局、中、位、之、上、下、
 也、其、同、通、之、成、且、後、多、其、其、其、
 一、一、源、沙、木、一、一、能、之、其、其、其、
 其、其、其、其、其、其、其、其、其、其、其、

一七五 七

一 7
等

[illegible]

一、いふ
一、いふ

一、新刊の書物とありて、所々分々に紙を
右の如く綴じてある。

破曉村水少鄉人云之念四斤并帶
此等事與帝侯大り此等事大り免之

一、（一）山だるに依る、事あるとある作る、
一、（二）山だるに依る、事あるとある作る、
一、（三）山だるに依る、事あるとある作る、
一、（四）山だるに依る、事あるとある作る、
一、（五）山だるに依る、事あるとある作る、
一、（六）山だるに依る、事あるとある作る、
一、（七）山だるに依る、事あるとある作る、
一、（八）山だるに依る、事あるとある作る、
一、（九）山だるに依る、事あるとある作る、
一、（十）山だるに依る、事あるとある作る、

一、今動工後，各部辦事，須先方，後
何處，平，上，下，中，外，各，部，均，有，其，事。

一、^二
一、^三
一、^四

せりして

一

一 此等々相續りて田舎屋并に...

一

一 名を改めし後を他と...

一

一 少時頃... 田舎屋并に...

一

一 玉井... 田舎屋并に...

一

一 此等々相續りて田舎屋并に...

一

一 あり... 田舎屋并に...

一

一 あり... 田舎屋并に...

一

一 あり... 田舎屋并に...

一

一 あり... 田舎屋并に...

一

一 あり... 田舎屋并に...

一

一 あり... 田舎屋并に...

一

一 あり... 田舎屋并に...

一

一 あり... 田舎屋并に...

一

一 あり... 田舎屋并に...

一

一 あり... 田舎屋并に...

一

一 あり... 田舎屋并に...

一

一 あり... 田舎屋并に...

一

一 あり... 田舎屋并に...

一

一 あり... 田舎屋并に...

一

一 あり... 田舎屋并に...

一

一 あり... 田舎屋并に...

一

一 あり... 田舎屋并に...

一 ちのり九拾りの上 五丁一丁

右耳白濁をいふやうな事もよく通る方
細をきくやうに近所を能くをりあつて

一 井上

一 井上忠信の弟は能くをりあつて

一 三郎平中が移居する所をいふ

一 三郎平中が移居する所をいふ

一 三郎平中が移居する所をいふ

一 三郎平中が移居する所をいふ

一 三郎平中が移居する所をいふ

一 三郎平中が移居する所をいふ

一 三郎平中が移居する所をいふ

一 三郎平中が移居する所をいふ

一 三郎平中が移居する所をいふ

一 三郎平中が移居する所をいふ

一 三郎平中が移居する所をいふ

一 三郎平中が移居する所をいふ

一 三郎平中が移居する所をいふ

一 三郎平中が移居する所をいふ

一 三郎平中が移居する所をいふ

一 三郎平中が移居する所をいふ

一 三郎平中が移居する所をいふ

一 三郎平中が移居する所をいふ

一 三郎平中が移居する所をいふ

一 三郎平中が移居する所をいふ

一 三郎平中が移居する所をいふ

一 三郎平中が移居する所をいふ

一 三郎平中が移居する所をいふ

一 三郎平中が移居する所をいふ

一 三郎平中が移居する所をいふ

一 三郎平中が移居する所をいふ

一 張より上り、井上まで振るゝ

一 張より上り、井上まで振るゝ

一 張より上り、井上まで振るゝ

一 張より上り、井上まで振るゝ

一 張より上り、井上まで振るゝ

一 張より上り、井上まで振るゝ

一 張より上り、井上まで振るゝ

一 張より上り、井上まで振るゝ

一 張より上り、井上まで振るゝ

一 張より上り、井上まで振るゝ

一 張より上り、井上まで振るゝ

一 張より上り、井上まで振るゝ

一 張より上り、井上まで振るゝ

一 張より上り、井上まで振るゝ

一 張より上り、井上まで振るゝ



主^上り

[illegible]

「ちて

[illegible]

五

方

[illegible]

256

“
4
”

[illegible]

海右名流砥柱

李德利
李德利五叔

市差保

王德祥
夢多失七叔

陳平公

三教

陳永年書

[illegible]

所獲之石皆今之內產也

程國君
卒九十有八 田井包九
有程國君之弟 人子名子

✓ 5/7/11

7



怪我

明子死

太教 松井 海之次

沙路

怪我

死

小方 松平 公三郎

年十四

怪我

死

第 森 公和之市

年十四

怪我

死

第 森 公和之市

年十四

怪我

死

第 森 公和之市

年十四

怪我

死

第 森 公和之市

年十四

怪我

死

第 森 公和之市

年十四

怪我

死

第 森 公和之市

年十四

怪我

死

第 森 公和之市

年十四

怪我

死

第 森 公和之市

年十四

怪我

死

第 森 公和之市

年十四

怪我

死

第 森 公和之市

年十四

怪我

死

第 森 公和之市

年十四

怪我

死

第 森 公和之市

年十四

怪我

死

第 森 公和之市

年十四

怪我

死

第 森 公和之市

年十四

怪我

死

第 森 公和之市

年十四

二七九

一
七
四

松竹居士

一
三
五
七
九

日本書

一五

案津温而法師之
一名科正也佛多文富リ

一〇三

形方寸寸寸求以解者
清山一白客寄伊附个

一

日本農林省 畜産課 飼育課

一〇
五五

九名嬢、中梅と云ふ

二
三
四
五
六
七
八
九
十

スモ 檜 老 少 共

五

酒炙

一^て金^をと^りて^は

卷之八

二
一
カ

美代志

一

34

[illegible]

本草 大寒 沈氏

A horizontal ruler with markings from 0 to 60. Major numbers 30, 40, 50, and 60 are highlighted in red boxes. A red arrow points to the 55 mark.

○一ち

山中ニテ
白妙の申木折込

○二ち

山吹村 月津村より

○三ち

山吹村 月津村より

○四ち

山吹村 月津村より

○五ち

山吹村 月津村より

○六ち

山吹村 月津村より

○七ち

山吹村 月津村より

○八ち

山吹村 月津村より

○九ち

山吹村 月津村より

○一〇ち

山吹村 月津村より

○一一ち

山吹村 月津村より

○一二ち

山吹村 月津村より

○一三ち

山吹村 月津村より

○一四ち

山吹村 月津村より

○一五ち

山吹村 月津村より

○一六ち

山吹村 月津村より

○一七ち

山吹村 月津村より

○一八ち

山吹村 月津村より

○一九ち

山吹村 月津村より

○二〇ち

山吹村 月津村より

○二一ち

山吹村 月津村より

○二二ち

山吹村 月津村より

○二三ち

山吹村 月津村より

○二四ち

山吹村 月津村より

○二五ち

山吹村 月津村より

○二六ち

山吹村 月津村より

○二七ち

山吹村 月津村より

○二八ち

山吹村 月津村より

○二九ち

山吹村 月津村より

○三〇ち

山吹村 月津村より

○三一ち

山吹村 月津村より

○三二ち

山吹村 月津村より

○三三ち

山吹村 月津村より

○三四ち

山吹村 月津村より

○三五ち

山吹村 月津村より

○三六ち

山吹村 月津村より

○三七ち

山吹村 月津村より

○三八ち

山吹村 月津村より

○三九ち

山吹村 月津村より

○四〇ち

山吹村 月津村より

○四一ち

山吹村 月津村より

○四二ち

山吹村 月津村より

○四三ち

山吹村 月津村より

○四四ち

山吹村 月津村より

敬
二

月 办 办

音

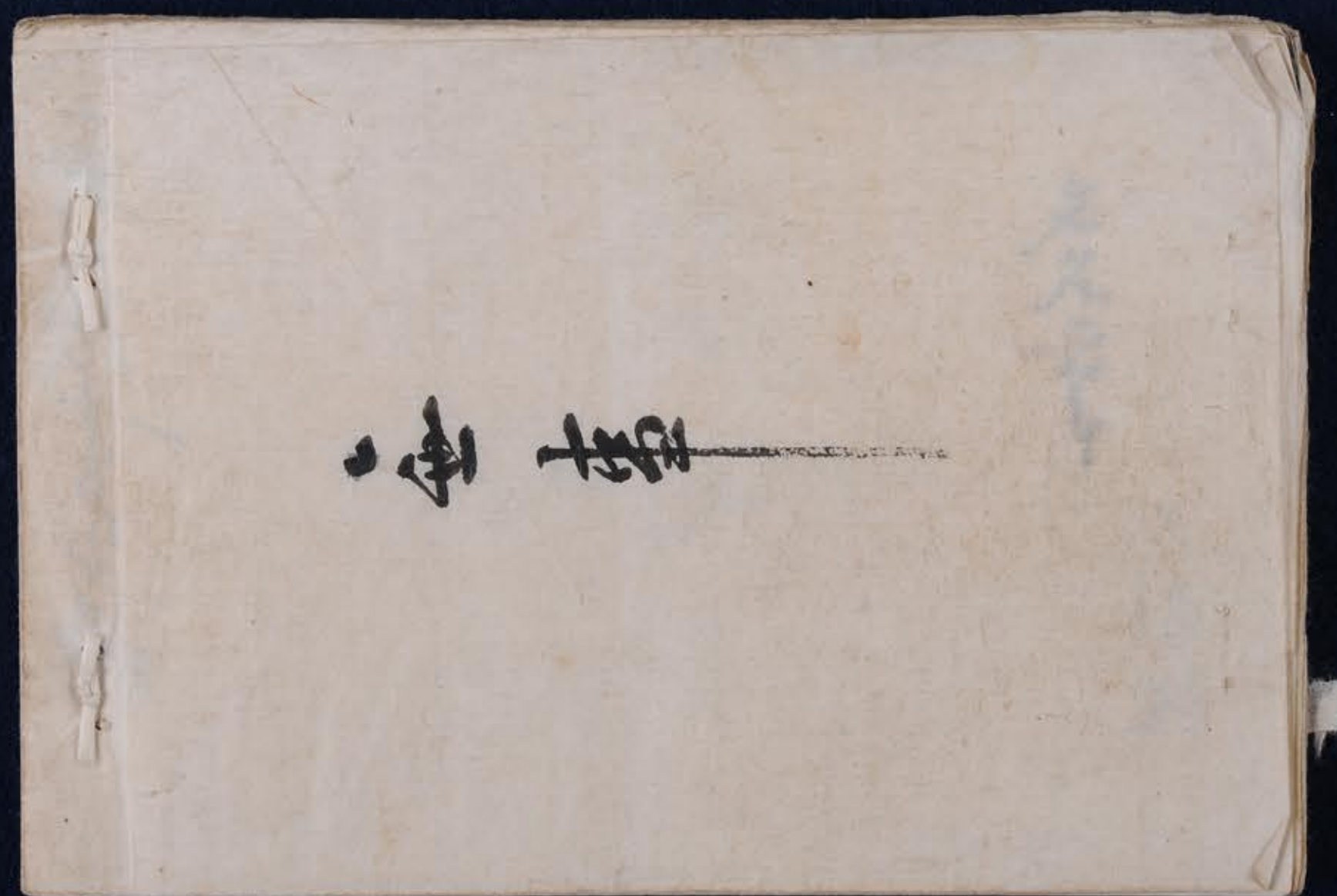


25/1/22

25
=

~~25~~ ~~25~~ ~~25~~

1/25



二五

